

# 会 派 代 表 質 問

(通 告 内 容)

平成30年第1回

那須塩原市議会定例会

(3月)

## 【代 表 質 問 者】

那須塩原クラブ

議席 16番 伊藤 豊美 議員

公明クラブ

議席 24番 吉成 伸一 議員

志絆の会

議席 17番 眞壁 俊郎 議員

フロンティアなすの

議席 20番 齋藤 寿一 議員

受付番号	平成 30年2月13日
第3号	午前 11時30分受付 午後

平成30年2月13日

那須塩原市議会議長 君島一郎様

会派名 那須塩原クラブ

議席番号16番 伊藤豊美



### 会派代表質問通告書

平成30年第1回那須塩原市議会定例会における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質問事項	質問の内容(詳細に)
1. 平成30年度 市政運営方針について	<p>平成30年度は、「第2次那須塩原市総合計画」の2年目の年であり、市長は、厳しい財政状況の中にあっても、将来を見据え、財政の健全性に配慮しつつ、引き続き「那須塩原市に住み、生活する皆様を一番に考える」を基本姿勢として、将来像の実現に向けた施策を、的確にスピード感を持って推進していくとしています。</p> <p>このような考え方のもと、平成30年度の事務事業推進のキーワードを『選択と集中』とし、これまで以上に必要性、費用対効果の視点から事業を「選択」とするとともに、自分の公約を実現するための事業のほか、第2次総合計画前期基本計画の重点プロジェクトに位置付けられた事業を中心に、未来に向けた投資を「集中的」に行い事業の早期完了、成長力の確保、市民生活の安全・安心の向上に取り組んでいくための予算としています。</p> <p>そこで、平成30年度の主要な事業内容について伺います。</p> <p>(1) 政策1 豊かな自然と共に生きるためにの中からごみ処理施設の安定稼働と計画的な整備のため第2期最終処分場整備計画について伺います。</p> <p>(2) 政策2 まちの安全安心を守るためにから平成30年度中</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	の着工を目指す、消防施設整備事業、消防団員確保事業について
	伺います。
	(3) 政策3 誰もが生き生きと暮らすためにから地域住民助け
	合い事業、避難行動要支援者援護事業について伺います。
	(4) 政策4 快適で便利な生活を支えるためにの中から道路の
	利便性や安全性を高めるため各種道路改良事業、歩道整備事業、
	通学路整備事業について伺います。
	(5) 政策5 地域の力と交流を生み出すためにから黒磯駅及び
	那須塩原駅周辺地区の都市再生整備計画事業について伺います。
	(6) 政策6 まちの活力を高めるためにの中から、農業生産基
	盤を強化するほ場整備事業、農産物の販路拡大事業について、ま
	た、新たな、新成人へのふるさと回帰米として思い出のふるさと
	ごはん事業について伺います。
	(7) 政策7 未来を拓く心と体を育むためにの中から、小・中
	学校へのエアコン整備事業、小・中学校のトイレ洋式化事業につ
	いて伺います。
	(8) 政策8 まちの持続的発展のためにの中から国・県・近隣
	市町との連携を強化するため、那須地域定住自立圏構想共生ビジ
	ョン推進事業について伺います。
2. 30年産からの米政策の見	(1) 市からの説明によると、これまでの生産数量目標の配分が
直しについて	なくなるとともに、達成・未達成の要件もなくなります。
	このため、生産者が、各々の判断により米の生産量を決めるこ
	とになります。ただし、供給が需要をオーバーすれば価格が下が
	りますので、米の作付け計画の参考としていただく情報として「作



受付番号	平成30年 2月13日
第2号	午前 10時00分受付 午後

平成30年 2月13日

那須塩原市議会議長 君島 一郎 様

公明クラブ  
議席番号 24番 吉成 伸一



### 会派代表質問通告書

平成30年第1回那須塩原市議会定例会における会派代表質問を下記のとおり通告します。  
記

質問事項	質問の内容(詳細に)
1、平成30年度 市政運営方針について	<p>1月22日国会において、安倍総理は施政方針演説を行い、その冒頭述べられた言葉が「国の力は、人に在り」でした。</p> <p>本市の将来像である「人がつながり 新しい力が湧きあがるまち 那須塩原」の実現に向けた第2次総合計画前期基本計画に謳っている“地域力の向上”、“魅力の創出”、“未来力の育成”、“都市力の成長”の4つの重点プロジェクトを推進することを君島市長は市政運営方針で述べられています。</p> <p>「人がつながり 新しい力が湧きあがるまち 那須塩原」の実現には、安倍総理の言葉を引用すれば「那須塩原市の力は、人に在り」であり、本市の優れた様々な人材を発掘し、活躍していただくことが重要ではないでしょうか。</p> <p>そのためには、君島市長の強いリーダーシップが求められます。</p> <p>以下について伺います。</p> <p>(1) 平成30年度の国・県の予算案が示されていますが、栃木県の予算案を福田知事は「ひとづくり しごとづくり とちぎ創生実現予算」と表現しています。本市の新年度予算案は、どう表現するか伺います。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	(2) 国・県の平成30年度予算のポイントが示されていますが、本市の予算編成に影響した点について伺います。
	(3) 「中長期財政の見通し (平成30年度～38年度)」について、昨年、新たに作成されました。今後の歳入・歳出フレーム、方向性を財政面から示した3つのパターンのなかの「中間型シナリオ」が選択されています。新年度予算は、中間型シナリオ通り編成されたか伺います。
	(4) 平成29年度予算より「枠配分方式」による各部への予算配分を止め、「積み上げ方式」で予算編成を行っていますが、それぞれのメリット・デメリットを伺うとともに、全国・県内の自治体の予算編成の両方式の採用状況を伺います。
	(5) 新年度の事務事業推進のキーワードを「選択と集中」としています。これまでの予算編成以上に事業の必要性・有効性、費用対効果の視点に力を入れた予算であるとしています。予算編成にあたって行政評価システム (事務事業評価) が果たした役割と具体的な事例を伺います。
	(6) 平成30年度より3年間かけて市単独補助金の見直しを行っていますが具体的な内容を伺います。
	(7) 政策5「地域の力と交流を生み出すために」から市民協働のまちづくりについて、各地区コミュニティから運営補助の増額の要望や自治会への事業依頼が増加し負担である等の声があるが、今後どう応えていくのか伺います。
	(8) 政策6「まちの活力を高めるために」では、新規事業として新成人へのふるさと回帰米としての思い出のふるさとごはん事業があります。事業の狙いと費用対効果を伺います。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	また、デスティネーションキャンペーンでの二次交通支援事業について伺います。
	(9) 政策7「未来を拓く心と体を育むために」からは、地域学校協働推進本部事業の今後の展開、芸術文化環境の充実のための歴史文化基本構想の策定事業の具体的内容、駅伝のまちづくりプロジェクトとプロスポーツチーム支援事業の狙いと事業内容について伺います。
	(10) 君島市長の公約事業は着実に進んでいるものと認識していますが、着手済みの事業と未着手の事業の割合及び未着手事業への今後の取り組みについて伺います。
2、働き方改革について	<p>国は、「働き方改革」として誰もがその能力を發揮できる柔軟な労働制度とする狙いから労働基準法を70年ぶりに抜本改革することを目指しています。栃木県においても職員の働き方改革に伴い事業の廃止や縮小・統合を行い職員の負担軽減と新たな課題への対応力向上を目指すとしています。</p> <p>本市の「働き方改革」への取り組みについて伺います。</p>
3、地域包括ケアシステムの取り組みについて	<p>第7期那須塩原市高齢者福祉計画（平成30年度～32年度）が策定されています。計画の中で高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができるような包括的な支援・サービス提供体制の構築を目指す地域包括ケアシステムの構築は、計画の大きな柱となっています。</p> <p>地域包括ケアシステムは、地域によって様々な形態があり、厚</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	生労働省の先進事例も紹介されています。以下について伺います。
	(1)第6期那須塩原市高齢者福祉計画(平成27年度～29年度)で地域包括ケアシステムの整備が重点事業として計画に組み込まれましたが、これまでの進捗状況を伺います。
	(2)本市に不足している介護保険サービスは何か。また、高齢者の健康づくりと介護予防事業の推進をどう進めるか伺います。
	(3)介護療養型医療施設(介護療養病床)から介護医療院への転換は進むのか伺います。
	(4)地域包括ケアシステムでは、関係機関の横の繋がりが重要となります。その役目を担っている地域包括ケア推進会議は機能しているか伺います。
	(5)先進事例には、ワンストップ福祉総合相談支援体制の取り組みやワンフロアに行政・社会福祉協議会・看護・包括の4つの多職種連携により総合支援を行っているところなど様々な取り組みが行われています。本市の地域包括ケアシステム構築に向けた他市の参考事例をお聞かせ下さい。
4、肝炎の重症化予防対策について	<p>ウイルス性肝炎は、国内最大の感染症と言われており、肝炎ウイルスに感染している人は、B型・C型合わせると約300万人に上ると推計されています。感染時期が明確でないことや自覚症状がないことが多いため、適切な時期に治療を受ける機会がなく気づかないうちに肝硬変や肝がんへ移行している感染者が多く存在することが問題となっています。</p> <p>そこで、本市における肝炎の重症化予防対策の取り組みについて伺います。</p>



受付番号	平成30年 2月13日
第 / 号	⑨時 午後 9時 45分受付

平成30年 2月13日

那須塩原市議会議長 君島 一郎 様

会派名 志 絆 の 会  
 議席番号 17番 眞 壁 俊 郎



会 派 代 表 質 問 通 告 書

平成30年第1回那須塩原市議会定例会における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 平成30年度市政運営方針について	君島市長におきましては、市長就任以来、一貫して市民優先の市政運営、国や県、近隣市町とも絆で結ばれた市政運営、公平・公正で健全な市政運営を旨に、昨年、策定された第2次総合計画前期基本計画における地域力の向上、魅力の創出、未来力の育成、都市力の成長の4つの重点プロジェクトを強力に推進し、県北の中心都市にふさわしいまちづくりに取り組むことから基本姿勢について伺うものです。
	(1) 地域力向上プロジェクトの誰もが安心して生活できるつながりのあるまちづくりについて伺う。
	(2) 魅力創出プロジェクトの地域資源が輝き産業が元気なまちと交流が生まれ人が元気なまちづくりについて伺う。
	(3) 未来力育成プロジェクトの未来を拓く子どもが生まれ育つまちづくりについて伺う。
	(4) 都市力成長プロジェクトの県北の中心都市にふさわしいまちづくりについて伺う。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
2. 平成30年度当初予算編成	平成30年度は、第2次総合計画前期基本計画の2年目の年で
について	あり、厳しい財政状況の中にあっても、将来を見据え、財政の健
	全化に配慮しつつ、那須塩原市に住み、生活する皆様を一番に考
	えるを基本姿勢として、将来像の実現に向けた施策を的確にスピ
	ード感を持って推進するものとしています。事務事業推進のキー
	ワードを選択と集中とし、必要性や有効性、費用対効果の視点か
	ら事業を選択するとともに、公約を着実に実現する事業のほか、
	第2次総合計画前期基本計画の重点プロジェクト事業を中心に、
	未来に向けた投資を集中的に行い、事業の早期完了、成長力の確
	保、市民生活の安全・安心の向上に取り組んでいくための予算編
	成であることから伺うものです。
	(1) 事務事業推進のキーワード選択と集中について伺う。
	(2) 未来に向けた投資について伺う。
	(3) 事業の早期完了、成長力の確保、市民生活の安全・安心の
	向上の取り組みについて伺う。
	(4) 事業のスクラップアンドビルドについて伺う。
	(5) 歳入の主な状況について伺う。
	(6) 歳出の主な状況について伺う。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
3. 結婚サポート総合戦略について	<p>那須塩原市においては、他市町に先駆けて、少子高齢化の進展や生産年齢人口の減少、地域の賑わいの喪失などの課題に対し将来を見据えた速やかな対応を図るため平成27年3月に定住促進計画を策定しました。その後、定住促進計画を那須塩原市まち・ひと・しごと創生総合戦略に改定し、戦略に掲げる4つの基本目標を達成するための重点施策の一つである、結婚（出会いから結婚までのサポート）について、統一的な方向性の下、結婚支援施策を効果的かつ効率的に実施するために、結婚サポート総合戦略を平成29年3月に策定し、結婚を希望する未婚の男女が、明るく夢のある将来像を描きながら、理想とする相手と巡り合い、結婚して家庭を築いて地域社会の担い手として活躍していくことを期待して結婚支援のための施策に取り組んでいることから伺うものです。</p>
	(1) 気運づくりの推進について伺う。
	(2) ひとづくりの推進について伺う。
	(3) 出合いづくりの推進について伺う。
	(4) 総合的な結婚支援の推進について伺う。
	(5) 栃木県との連携について伺う。

受付番号	平成30年2月13日
第4号	午前 11時55分受付 午後

平成30年 2月13日

那須塩原市議会議長 君島 一郎 様

会派名 フロンティアなすの

議席番号 20番 齋藤 寿一



### 会派代表質問通告書

平成30年第1回那須塩原市議会定例会における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質問事項	質問の内容(詳細に)
1. 平成30年度予算編成の基本的な考え方と市政運営方針について	<p>平成30年度は第2次総合計画前期基本計画が2年目を迎えますが、厳しい財政状況の中にあっても、将来を見据え、財政の健全性に配慮しつつ、引き続き「那須塩原市に住み、生活する皆様を一番に考える」を基本姿勢として、将来像の実現に向けた施策を的確にスピード感を持って推進していくとし、事務事業推進のキーワードを「選択と集中」として平成30年度一般会計当初予算総額を475億2千万円といたしました。</p> <p>主要事業として、政策1.「豊かな自然と共に生きるために」、政策2.「まちの安全安心を守るために」、政策3.「誰もが生き生きと暮らすために」、政策4.「快適で便利な生活を支えるために」、政策5.「地域の力と交流を生み出すために」、政策6.「まちの活力を高めるために」、政策7.「未来を拓く心と体を育むために」、政策8.「まちの持続的発展のために」とし、また第2次総合計画の2年目に当たり“地域力の向上”、“魅力の創出”、“未来力の育成”、“都市力の成長”の4つの重点プロジェクトを強力に推進していくとしています。</p> <p>そこで以下の点についてお伺いします。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	(1) 平成30年度の事務事業のキーワードを「選択と集中」と
	した、基本姿勢についてお伺いします。
	(2) 第2期最終処分場整備事業についてお伺いします。
	(3) 消防機能の充実・強化のため、公約事業である黒磯消防署
	整備事業についてお伺いします。
	(4) 安心して子どもを産み育てるための妊産婦支援事業や新生
	児乳幼児家庭訪問事業についてお伺いします。
	(5) 空き家等対策事業についてお伺いします。
	(6) 新成人へのふるさと回帰米として「思い出のふるさとごは
	ん事業」についてお伺いします。
	(7) 企業立地支援事業についてお伺いします。
	(8) 本番を迎えるデスティネーションキャンペーンの成功と終
	了後の観光局との連携支援事業についてお伺いします。
	(9) 小・中学校へのエアコン・トイレ洋式化事業についてお伺
	いします。
	(10) アートを活かしたまちづくり推進事業についてお伺いし
	ます。
	(11) 駅伝のまちづくりプロジェクトや県内で活動するプロス
	ポーツチームへの支援事業について、また、スポーツ施設
	整備事業や国体等準備事業についてお伺いします。
	(12) 那須地域定住自立圏構想共生ビジョン推進事業、また、
	国・県・関係機関との連携事業についてお伺いします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
2. 学校教育の現状について	<p>学校現場では、教育はもとより、いじめ、不登校等、児童、生徒指導上の諸課題への対応、特別支援教育の充実、外国人児童生徒への対応など複雑かつ多様な課題に対応することが求められています。また、社会全体の高学歴化が進行する中で教員の社会的地位の一層の向上を図ることの必要性も求められていることから、以下の点についてお伺いします。</p> <p>(1) 児童・生徒の現状について</p> <p>①本市の不登校の現状についてお伺いします。</p> <p>②宿泊体験館メープルの利用状況についてお伺いします。</p> <p>③不登校対策についてお伺いします。</p> <p>(2) 教員の多忙化解消について</p> <p>①学校現場における本市教員の勤務実態についてお伺いします。</p> <p>②教員の多忙によるストレス等の実態についてお伺いします。</p> <p>③教員の多忙化を解消するための取り組みについてお伺いします。</p> <p>④教員にとって時間のゆとりが出来やすい午前5時間制について検討してはと思うが、見解をお伺いします。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
<p>3. ふるさと納税に対する本市の状況について</p>	<p>ふるさと納税は、地方自治体への寄付を通じて地方創生に参加できる制度のことで、自分の生まれ故郷だけでなく、好きな自治体に寄付金を贈ることができ、そのお礼として特産品や名産品が「返礼品」として貰えることなどから、年々増加する傾向となっています。またその反面、返礼品の過熱ぶりが問題視されていることから、次の点についてお伺いします。</p> <p>(1) 本市におけるふるさと納税制度に係る寄付受入額と個人住民税の控除額の状況についてお伺いします。</p> <p>(2) 本市のふるさと納税返礼品についてお伺いします。</p> <p>(3) 使い道の指定、使途分野と寄付金額、また、活用事業についてお伺いします。</p>
<p>4. 鳥野目浄水場からの水道水異臭発生について</p>	<p>日本の水道水は、国が定めた安全基準に基づき水道水を供給するように義務付けられています。水質チェックが行われているおかげで、私たちは安全に飲むことができるわけであります。今回、残念ながら鳥野目浄水場からの水道水異臭発生がありましたことから、次の点についてお伺いします。</p> <p>(1) 鳥野目浄水場から配水している水道水を給水している地域、また戸数についてお伺いします。</p> <p>(2) 今回の異臭発生に対しての問い合わせ件数はどれくらいかお伺いします。</p> <p>(3) 今回の異臭発生による原因は何かお伺いします。</p> <p>(4) 今回の異臭発生による住民への対応をお伺いします。</p> <p>(5) 今回の反省点を踏まえ、今後の対策についてお伺いします。</p>